

大阪事務所だより

最終回

2年間を振り返って

離れて知った 鳥取の素晴らしさ

私が鳥取県大阪事務所へ出向して、早いもので2年が経過し、4月から大山町へ帰ることになりました。最初は、大阪でどんな仕事をするのかとドキドキしていたのを思い出します。昨年の4月号から、大阪での仕

事を通じて見たり聞いたりした情報を「大阪事務所だより」として掲載してまいりましたが、私の原稿はこれで最後になります。



駅前第3ビル22階鳥取県大阪事務所から外を眺めた風景

改めて大阪での2年間を振り返ってみますと、多くの方々と出会い、いろいろな経験させてくださいと思います。大阪に来るまでは本当に「井の中の蛙」、鳥取県内の情報知識でさえ満足でなかったと反省しているところです。こちらに来てから各機関からいろいろな情報をいただいたり、県内各地をマスコミの取材で訪問したりと、鳥取を離れて改めて鳥取の素晴らしさを知ることができました。

また、関西で鳥取県のPR活動をしていると体験させていただき、今どのような情報、商品が関西エリアを中心とする市場が求めている、それに答えて行

くには、どのような問題点があるのかなどを感じる事ができました。このことは、まさに大阪事務所に来なければ感じる事ができなかったことだと思っています。

地域の素材を 生かしたPRを

「現在は、インターネットに代表されるような情報の氾濫する時代であり、さまざまなアプローチをして成功しているところと、出来ていないところとの格差はだんだんと広がっている」と先日お会いしたTV関係者の方からお話しを聞きま



用瀬流しびなPRでマスコミ各社をまわりました

した。今一度、足元を見つめ直し、地域の素材を大事にしたPRが、鳥取県（大山も含め）には必要であると痛感しているところです。

最後に、1年間広報紙の中で紙面をいただいたことへの感謝と、読みづらい文面であったことへのお詫びを申し上げて終わりとさせていただきます。大山町に帰ってからは、大阪での経験をいかして頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願ひします。ありがとうございました。



鳥取学出前講座で「米子市の現状と課題」と題して講演する野坂市長

池信昌隆：平成18年4月から町と県の人事交流で鳥取県大阪事務所に勤務しました。
鳥取県大阪事務所（4月から名称が「鳥取県関西本部」に変わります）
大阪市北区梅田1-1-3-2200
大阪駅前第3ビル22階
☎(06)6341-3955 FAX(06)6341-3972